

[狛江市] 学校運営協議会：議事録

会議の名称	令和7年度第4回四中ゾーン学校運営協議会
開催日時	令和8年1月20日(火) 15時00分～16時30分
開催場所	狛江市立狛江第五小学校 図書室
出席者氏名	千葉 桂樹 石賀 健勝 梅本ろり絵 住友 和子 佐野 正作 山田 拓史 窪田 暁 三野 勝博 豊島 秀臣 細谷俊太郎 工藤 聡 岩淵 美香 上原 孝枝
欠席者氏名	高木 生 内海 貴美 新井 和子
傍聴者	0名
議題	1. 学校評価・部活動の地域展開(四中) 2. 学校評価(五小) 3. 学校評価についての意見(協議) 4. 五小教員との懇談会(※管理職退出)
協議要旨	1. 学校評価・部活動の地域展開(四中) ◇学校評価 ・昨年度の学校評価を受けて今年度質問内容を変えたら、数値がともよくなった。1年の保護者が高評価だった。 ・行事を精選したことで、「学校生活の中で上級生の姿を見て下級生が学び・頑張る」という気持ちになるという項目が下がった。 ◇部活動の地域展開 ・男子バレーボールサークルは完全に四中で活動をするようになり、地域の方が指導している。 ・サッカーについても地域展開が始まり、体験会を開いて生徒を募集する。  2. 学校評価(五小) ・五小は、4～9月まで大きな行事を入れず、安定した学級づくりに注力するスタイルを取っている。 ・学校評価アンケートをとった時期には、保護者にとって評価するための材料となる行事が何もなかった。学校公開の機会を増やし、保護者により見やすい環境づくりをする。 ・教員の時間外在校等時間が減っていて、働き方改革の面でとても努力している。  3. 学校評価についての意見(協議) ・四中を参観した時、生徒がともしっかりしていて感心した。教師の説明も高度であった。今の学校のあり方に感動を覚えた。行事に教師が介在しないで生徒が立派に実施していた。 ・教員の自己評価について、小学校は厳しめ。悩みながらやっている姿がうかがえる。肯定的に受け止められるとよい。 ・教育目標に「思いやり」の項目がない。他者に対する思いやりを入れていくと優しい雰囲気为学校になるのではないかと。  4. 五小教員との懇談会(※管理職退出) ・教員にとって働きやすい環境(人が良い、地域が良い)をつくるのが、子どもたちが楽しく通える魅力的な学校づくりに直結する。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五小では、人材育成の系統性（管理職→主幹・指導教諭→主任教諭→教諭）が伝統的に根付いている。</li> <li>・教員の背景や思いを理解することで、単なる数字としてではなく教員の向上心の表れとして、評価を「柔らかく」捉えられるようになった。</li> <li>・「働き方改革」や「負担軽減」に直結する課題や今後の改善点についての具体的なステップについては、今後も議論が必要である。</li> <li>・教員の自己評価の評価制度や自己肯定感を高めるための具体的な施策について、今後も議論が必要である。</li> </ul>
次回の予定	第5回：令和8年3月10日(火) 於 狛江四中